

令和2年8月27日

川辺町議会議長 桜井 真茂 様

川辺町議会議員 桜井 芳男

## 令和2年川辺町議会第3回定例会一般質問通告書

以下のとおり通告します。

1. 質問名 今後のまちづくりについて
2. 回答を求める先 町長
3. 質問の概要

評論家中野好夫氏の著書「怒りの花束」の中に、「それぞれの世代は、前の世代から引き継がれた私たちの国、私たちの社会を、たとえ少しでも良いものにして次の世代にバトンを渡す、これが各世代の背負わされた絶対の責任だと考える」という一節があります。

先日町長から、比久見工場跡地のその後の経緯について説明を受けました。この度、可児市にある民間会社が土地を購入し、新たに工場を建設する計画が進んでいるという内容でした。

町長は、比久見工場跡地の有効活用を引き続き検討されていたようですが、これによって、町が直接、工場跡地を活用する術は完全になりました。

先に紹介しました著書の「国・社会」を川辺町に置き換えてみて、工場跡地活用に代わる、川辺町の今後の町づくりについてのお考えをお聞かせ下さい。

令和2年9月18日

## 令和2年川辺町議会第3回定例会一般質問答弁書

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 1. 質問名   | <u>今後のまちづくりについて</u> |
| 2. 質問議員名 | <u>櫻井芳男議員</u>       |
| 3. 答弁者   | <u>町長</u>           |
| 4. 答弁の概要 |                     |

お答えします。

先ほどもお話ししましたように、民間工場の操業停止からおよそ20年間、未活用のままであった用地を購入し、川辺町活性化施策を作りあげたいとの思いで始めた未来投資会議およびその後の私的なプロジェクトチームでありましたが、地権者から他の民間会社への売買契約が取り交わされ、購入する機会は失われました。購入された民間会社は電気自動車のバッテリーを構成するプラスチック部品を製造するもので、最終的には3棟、従業員200人程度を見込んでおり、取りあえず来年10月に第1棟、従業員50名程度で操業を開始したいとのことでした。

川辺町がいま直面している問題は、緩やかに進む人口減少と移住・定住問題、児童減少に伴う小学校統合と小中一貫校による特色ある教育の推進、増加する高齢者とその介護問題、障害者福祉対策、結婚から妊娠・出産・子育てへの一貫した支援、年を追うごとに激甚化する災害への対策と国土強靱化施策、東海環状・41号美濃加茂バイパスの完成により向上したアクセス有効活用、農林商工などの産業振興、基礎的自治体として道路・橋梁・上下水道などの基盤整備等、多岐にわたっています。そして議員ご承知のとおり、これらは一挙に解決できるような問題ではありません。

例えば小学校統合問題については、町民皆様に統合の必要性をご理解頂くところから始めなくてはなりません。今年度当初から予定していた各地区での住民懇談会は新型コロナウイルス対策のため開始できておりませんし、今後の予定も立たない状況です。

防災・減災対策では、コロナ対策を施した避難所設置、防災行政無線のデジタル化、地域防災計画の見直し、国土強靱化地域計画の策定など、次々と国土を襲う自然災害への対応が急務となっています。

移住・定住施策では、空き家バンク登録33件中23件が売却されたとは言っても、まだまだ先は長く、空き家改修補助金や住宅取得者への定住促進助成

金等、地道な施策の継続が必要です。多くの移住者・定住者を誘導するには、魅力あるまちづくりが必要です。魅力あるまちとは、住んでみたいまち・住み続けたいまちであり、表現としては抽象的ではありますが、基礎的自治体を構成するすべての要素の飛躍・向上が求められます。そしてそのための近道はないといってもよいのではないのでしょうか。直面する課題を一つ一つ丹念に解決しながら、例えば道路整備や橋梁修繕をこつこつ施していく。住民一人一人に寄り添い、励まし合いながら健康で朗らかに暮らせるまちづくりを進めていく。雇用を創出し安定した生活を継続するため、企業誘致による産業振興も必要です。

また夢も必要です。川辺町では今年、艇庫建設50周年を迎えました。これまで半世紀に渡り、ボート競技の振興と特色あるまちづくり、という先人が進めてこられた事業を継承し発展させていかねばなりません。

以上、雑ばくな説明となりましたが、一言で言えば、迫り来る課題をひとつひとつ丁寧に解決しながら、夢ふくらむ元気なまち、第5次総合計画で掲げた「清流と人が織りなす 活力あるまち」に向けて、衆知を結集し力を合わせて、ともに邁進してゆくことだと思います。

私は最近、寸暇をみつけて「川辺町史 通史編」を読んでおります。942ページもの大作で、なかなか捗りませんが、川辺町の自然・風土から説き起こして原始・古代・中世・近世・近代・現代へと続く歴史の潮流を、とりわけ我が川辺町の歴史的事実を能うかぎり克明に記録しております。その一つ一つに川辺町の歩んできた姿、発展してきた軌跡を確認することができます。我々も郷土の歴史を担う一員として、その末尾に1行を追加したいと思います。どうか議員はじめ町民皆様の知恵と力をお貸し頂きますようお願い申し上げます。郷土を愛する皆様のご理解ご協力を切にお願いして、意を尽くしますが答弁とさせていただきます。